

7/12 地元のためボランティアに汗 虻田高校が足湯を清掃

虻田高校（廣川雅之校長）の1年生が、洞爺湖温泉の足湯「洞龍の湯」と「薬師の湯」を清掃しました。地域貢献などを目的に毎年行っている、今回は1年生18人が参加しました。

生徒たちは、足湯の底に重曹をまいてブラシで汚れを落とし、観光客が腰掛けるベンチはていねいに磨きました。地元のために汗を流した奥山颯太さんは「力仕事が大変だったけどきれいになってよかったです」と笑顔を見せていました。



洞龍の湯を清掃する生徒たち

7/9 ICT（情報通信技術）で新たな学びを 洞爺湖温泉小がオンライン授業

洞爺湖温泉小学校（柿崎秀顕校長）が、オンライン授業を初めて行いました。同校は「デジタル教科書活用重点校」に指定され、いち早くオンライン授業を導入。成果を他校と共有し、町内のICT授業の普及につなげる予定です。

3・4年生が自宅などでタブレット端末を使い、国語を学びました。「いつもより集中できた」「初めてだけど楽しかった」と感想を話し、新しい授業に意欲を見せていました。



初めて行われた洞爺湖温泉小学校のオンライン授業

7/16 地元のおいしい野菜を食卓へ えんプロジェクトが軽トラで野菜販売

食を通じて、人との縁をつなげて地域に笑顔を作ること、を目的に活動している「えんプロジェクト」（小林裕司代表）が「えんプロ市」を開催しました。

当日は、トマトやキャベツ、タマネギ、ピーマンなど18種類の野菜を販売、地域住民が足を運んで旬の野菜を買い求めました。野菜を買った住民は「いろいろな種類があり、毎回楽しみにしています。新鮮でとてもおいしいです」と話していました。



地元の野菜を買い求める住民

7/15 開拓の礎となった馬に感謝を 入江・大磯馬頭観世音碑建立記念事業

江戸時代、虻田の開拓を支えた馬を祭っている入江・大磯の馬頭観世音碑の建立記念事業が行われました。馬頭観世音碑は入江で1805年、大磯では1825年に建立。両地区の開拓を支えた馬の霊を祭っています。

記念事業には、真屋町長や馬頭観世音碑の保全に携わった関係者が出席。碑の前で手を合わせ、虻田地区の発展を導いた馬に感謝を捧げました。



大磯馬頭観世音碑に手を合わせる出席者

7/28・8/4

歴史を風化させないために 令和3年度洞爺湖町戦没者追悼式

令 和3年度の洞爺湖町戦没者追悼式が、洞爺地区と虻田地区で行われ、戦没者の冥福を祈りました。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を縮小して実施。

洞爺地区では、関係者8名が参列、真屋町長は「戦後76年が経過したが、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さを次世代に伝えていかなければならない」と式辞を読み上げた後、献花を行いました。



式辞を読み上げる真屋町長

7/26

公衆トイレの点検・修理を実施 洞爺湖管工事業協会ボランティア

洞 爺湖管工事業協会（齊藤晶隆会長、9社加盟）が洞爺湖温泉街にある公衆トイレの点検・無償修理を実施しました。同協会が毎年実施している地域貢献の一環で、当日は、加盟している9社から12人が参加。珍小島公園や噴火記念公園のトイレなど9か所を分担して点検や修理を行いました。

作業前に齊藤会長が「洞爺湖を訪れる観光客に気持ちよく利用してもらいたい」と挨拶しました。



点検作業を行う会員

8/7

芸術館ワークショップ 道南杉のスツールづくり

洞 爺湖芸術館で夏休み特別ワークショップ「道南杉のスツールづくり」が公立はこだて未来大学原田泰教授を講師として招き開催、午前と午後合わせて約10人が参加しました。

スツールとは、背もたれがなく、座面と脚だけで構成されている椅子のことを指します。

参加した子どもは「木を削ったり、ネジを止めたりするのが難しかったけど、おもしろかったです」と満足した表情を浮かべていました。



電動ドリルを使ってネジ止めする参加者

7/31・8/2

美しい音色が響き渡る 芸術館でバイオリンコンサート

洞 爺湖芸術館が、夏特別展佐藤千穂展「La Luzーひかりー」に合わせたバイオリンコンサートを行いました。生前の佐藤さんと親交があったバイオリニスト齋藤真知亜・律子夫妻が、3年ぶりに同館のコンサートに出演しました。

優しい色合いで心象風景を描いた佐藤さんの作品が会場を彩る中、齋藤夫妻が華麗な旋律を響かせました。参加者は「芸術館でまた演奏を聴けて良かったです」と話していました。



参加者を魅了したバイオリンコンサート